

## ロジックスライン 賞与日の移行を検討

航空貨物輸送を手掛けるロジックスライン(沢田秀明社長、千葉県成田市)では

これまで毎年、夏と冬の2回、賞与を支払ってきた。しかし、今年は新型コロナウイルスの影響もあり、支払いの見直しも考えているという。

航空貨物は新型コロナウイルスの影響をまともに受け、同社も前年

と比べ、2割から3割、荷物が減少しているという。

賞与は会社の業績に応じて支払うと規定されており、本来ならば、業績が芳しくない時は支払わなくてもいいというところになる。しかし、毎年支払われているため、給与の一部と考えているドライバーも少なくない。

沢田社長



そこで同社長が考えているのが、賞与日の移行である。同社長によると、「うちは3月決算なので、4月から新年度が始まるが、半期ごとに収支を出しているので、9月で一度締める。それを待つ

て賞与の支払いを決めてもいいかなと考えている」という。いわば7月に出していた夏の賞与を、10月にずらすということだ。4、5月はコロナの影響で荷動きが悪かったが、経済活動が再開されるにともない、荷動きが徐々に戻ってきており、「7、8月の結果を見て支払うこともできる」という。

冬の賞与も、下期の決算を控える2月から3月に支給をずらす。そうすれば、支払日を変更しただけで、年2回の賞与は変わらず支給できると指摘する。その上で、「今回のコロナが賞与日の移行ということを考えるきっかけになった」とし、「賞与支給は夏と冬が定番なので、理解を得られるかはわからないが、理解を得られるのであれば移行も検討したい」と話す。(高田直樹)